



Q コミュニティビジネスとは？

市では、「地域の課題解決につながる」、「地域コミュニティ組織や、NPO、企業など、多様な団体が主体となる」、「ビジネスの手法を用いて取り組む」これらを全て満たす事業をコミュニティビジネスと位置づけ、「地域の未来づくり推進事業」により、事業化への支援を行っています。

岡山市は地域のために頑張る人を支援します！

地域課題をコミュニティビジネスで解決

地域それぞれが持つ固有の資源を生かし、地域を元気にします。



地域の未来づくり
推進事業を活用してチャレンジ！

株式会社 創・和
代表取締役

加藤 雅敏 さん
かとう まさとし

群馬県でスノーボード指導員を10年余、30歳を機に岡山市に戻り建設業を継ぐ。農家の叔母に後継者がいないのを知り就農。一宮地域の桃を守ろうと活動中。

考えて、見て歩いて、
新たな事業化へ

新しい世界に飛び込み、
さまざまな地域課題に気付いた

岡山の白桃。その代表品種「清水白桃」の発祥の地、一宮地域。日本一、いや世界一おいしい桃づくりの伝統がここにはあります。ところが、就農してみると、高齢化や後継者不足など、困ったことが目立ち始めていて…。そんな地域の課題をビジネスの手法で解決しようと考えました。

儲かる農業、活気にあふれた経営ができれば、生産者の刺激になり、若者も農業に興味を持てるのではないかと。市場に出す桃は、間違いなく特級の品質ですが、少しのキズや熟れすぎているだけで、品質検査に合格できず、仕方なく廃棄していました。フードロス少しでも減らしたいとの思いから、和歌山など他産地の成功事例の見学も行いました。こうした中、市の「地域の未来づくり推進事業」の計画づくりを進め、昨年春に計画が認定されました。

加藤さんが「何とかしたい！」
と思う一宮地域の課題

- 生産者の高齢化と後継者不足
- 桃の作付け面積の減少と農地の荒廃
- 出荷量・売上高維持への不安
- 「日本一の桃産地」としてアピールしたい
- 生産者と消費者をつなぎたい
- 廃棄される高品質な桃がたくさんある

廃棄される桃を
何とかしたい



課題解決の流れ

農家
カフェ
の運営

- ・規格外品の有効活用
- ・生産者直売所の紹介
- ・ランドマークとなる先進的デザインの店舗
- ・インスタ映えする商品開発
- ・SNSなどでの情報発信
- ・老若男女やペットも楽しめる空間

- ・農家の収益向上
- ・地域の魅力と認知度向上(地域のファンを増やす)

- ・新規就農者の増と農地の再生
- ・交流人口増加

地域の
活性化

一宮地域の「日本一の桃づくり」を 産地から全国に発信するカフェをオープンします

今年6月頃オープン予定

名付けて「ピーチ・ファーマーズ・ビレッジ」。「岡山の桃を楽しむならここ!」という拠点として、皆さんをお迎えする予定です。

自社加工の桃のジェラート販売や地元農産物のマルシェのほか、芝すべり台などカフェ周辺の自然を生かした整備も順次進めます。

農家カフェ
ピーチ・ファーマーズ・ビレッジ
北区芳賀5111-48



建物は温室をモチーフにした木製アーチが特徴



コミュニティビジネスに取り組む団体を支援します 岡山市「地域の未来づくり推進事業」とは?

地域課題の解決にビジネスの視点で取り組む事業計画づくりへの支援と、事業の立ち上げに必要な経費の一部を支援する制度です。

コミュニティビジネスの活動事例も掲載中!

政策局 政策部 事業政策課

☎086-803-1042

e-mail: jigyouseisaku@city.okayama.lg.jp



市長インタビュー

岡山市は「人の活躍」を応援していきます!

Q 今、なぜ「起業」が注目されているのでしょうか?

A 現代は社会の変化のスピードが本当に速くなってきています。そうした中、新しい技術・ノウハウを持った起業家は、急速に成長して「経済成長のエンジン」となる、大きな可能性を秘めている存在です。

今後岡山からスタートアップがどんどん生まれてほしいですね。

Q 「就農」についてはどうでしょうか。

A 農業者の高齢化が進んでおり、農業を持続可能なものにするためにも、若い人の就農が求められています。

一方で、若い人たちも、「自然が好き」「自分で採配をふるいたい」などの理由で就農に関心がある人も増えてきています。

これからの農業は、データ管理による農業経営を実現するDXに取り組むことで生産効率を上げていくことも可能です。若い人たちには、新たな技術も活用して生産性を高め、効率的な経営スタイルの農業にチャレンジしてもらいたいですね。

※DX(デジタルトランスフォーメーション)
→デジタル技術を浸透させることで
人々の生活をより良いものへと変革すること。

Q 起業・就農支援に当たり、市が力を入れていることは何でしょうか?

A 「きっかけづくり」ですね。起業や就農に「関心がある」という人は意外に多いのですが、「どうすれば良いのか分からない」「自分には無理だろう」とあきらめてしまう人も多くいるのではないのでしょうか。そういった皆さんが一步前に踏み出すお手伝いができればと思っています。

Q そのための「ももスタ」であり、「就農サポートセンター」ですね。

A そうですね。まずは気軽にご相談いただくことが一番かと。

担当者の話を聞くと、最初は皆さん不安な面を抱えつつも、数年もすれば見違えるように輝いていることが多いとか。本当にうれしい限りです。今後も「人の活躍」に着目して、がんばる人・がんばりたい人を応援していきたいですね。

岡山市長 大森雅夫



読者アンケート&プレゼント

特集「岡山を元気にする人を応援しよう」はいかがでしたか？
以下のアンケートに回答いただいた人の中から抽選でプレゼントが当たります。

アンケート

- 1 今号の感想を聞かせてください。
- 2 どの記事に興味を持ちましたか？
- 3 特集してほしいテーマは何ですか？
- 4 その他のご意見
(毎月発行の「市民のひろばおかやま」などについて)

応募方法

アンケートへの回答、住所、氏名、年齢、電話番号を記入し、はがきまたは封書、FAX、電子メールで応募してください。なお、当選者の発表は、プレゼントの発送をもって代えさせていただきます。

応募先は下記の「発行」の住所をご参照ください。携帯電話からは右のQRコードを読み込んでご応募ください。



応募締切 4月30日(土) 当日消印有効



① マスコット2個セット

10人に当たる！ プレゼント

①～⑤のミコロ・ハコロ
グッズセット



② ハンカチ



③ マスキングテープ
2個セット



④ メモ帳



⑤ トートバッグ

ぜんぶ
まとめて
もらえるよ！

今号をもちまして、別冊で年2回発行していた特集号は最後となります。
次回からは、「市民のひろばおかやま」に年4回の特集ページとして装いを新たに、
より多くのテーマを取り上げ、皆さんにお届けする予定です。
これからも「市民のひろばおかやま」をどうぞよろしくお願ひします。

2022年4月1日発行 第39号

発行：岡山市広報広聴課

〒700-8544 岡山市北区大供一丁目1-1

TEL086-803-1024 FAX086-803-1731

ホームページ



電子メール



<https://www.city.okayama.jp/> kouhouka@city.okayama.lg.jp

制作・編集 株式会社ビザビ

QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です。

編集後記

今号では、「岡山を元気にする人」をテーマに掲げ、なかでも起業と農業にフォーカスしました。取材の中で、日々、ステップアップを続ける皆さんの姿はとても生き生きとしていて、たくさんの元気・勇気・笑顔をいただきました。皆さん大変な苦労を経験されつつも、あくまで明るく前向きです。その明るさが岡山市の未来にさらに元気をもたらしてくれると期待しています。